

とう こう  
橙黄色の鮮やかな花がノスタルジックな風景を演出します。

## ベニバナが見頃です！



2013年8月5日撮影

国営ひたち海浜公園『みはらしの里』ではベニバナが見頃を迎えています。本公園のベニバナは一昨年（2011年）より夏を彩る花として植栽をはじめましたが、今年から本格的に植栽面積、本数を拡大してみはらしの里を鮮やかに、かつノスタルジックに彩っています。今年は特に梅雨時期の雨量の少なさと涼しい気候もあり、多くの花を咲かせています。

ベニバナは、花の咲き始めは黄色ですが、その名の通り徐々に紅色に変わります。みはらしの里では、早く咲き始めたものが紅色になり、今なら黄色と紅色の両方を一度に見ることができます。古民家を背景に、目の前に広がる昔懐かしい里の風景とあわせて、黄色から紅色に変化していく様子をお楽しみください。

お問い合わせ先

国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 企画課 広報担当 服部・平田・安蔵・田中(兼)

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4

TEL: 029-265-9001 (報道関係者の方は 029-265-9004・9005 迄) FAX: 029-265-9339

ホームページ <http://www.hitachikaihin.go.jp> “ひたち海浜公園”で検索。

# ベニバナ

キク科ベニバナ属

花期：7月下旬～  
8月中旬

ベニバナの花言葉は  
包容力、装い、  
愛する力、熱狂



学名：Carthamus tinctorius 【一年草】  
別名：末摘花（すえつむはな）、呉藍（くれあい）、  
サフラワー

- ◆古くから南西アジア・北アフリカを中心に広く栽培され、染料や食用、薬用植物として利用されています。またハーブとして栽培されていることも多く、種子には良質のポリフェノールが含まれています。
- ◆初夏にアザミに似た花を咲かせ、葉のふちに鋭いトゲがありますが、トゲの無い園芸品種もあります。生花の他ドライフラワーにも使われます。
- ◆乾燥した気候を好み、20℃前後の気温でよく育つ草花で高温多湿を苦手とします。比較的低温に耐え、雪や霜に当たっても枯れることはめったにありません。
- ◆ベニバナの属名 Carthamus は、染めるという意味のアラビア語に由来し、日本には、飛鳥時代に中国から朝鮮半島を経て渡来しました。名前の由来は、花から紅色色素を採取することから、漢名が紅花、和名はそのまま訓読みして「ベニバナ」になりました。



2013年7月28日撮影



背景には緑色のコキアも観られます。



## ひたち海浜公園のベニバナは…

『みはらしの里』の 5,000 m<sup>2</sup> のエリアに、18万本のベニバナを咲かせています。

2013年7月28日撮影

## ■ベニバナを使ったイベント

染色体験のイベントも予定しています。



## Topics.....

### コキアなう

「みはらしの丘」の  
コキアの「今」を  
レポートします。

すでに50cmを超え  
ました。…！！  
触るとやわらかく  
てふわふわしてま  
すよ。(=^・^=)

2013年8月5日撮影



### プレスリリース

次号  
予告

コキアライトアップ  
開催します。  
8/10～18



イメージ

(試験点灯の様子) 2013年7月29日撮影